

街路事業の再評価概要書

			番 号	102	
			事業主体	栃 木 県	
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	小山栃木都市計画道路 3・4・201号 沼和田川原田線 <small>ぬまわだかわらだせん</small>		事業箇所名	栃木市片柳町 <small>とちぎしかたやなぎちょう</small>	
事業区間	栃木市境町 ～ 栃木市片柳町2丁目 <small>とちぎしきかいちょう とちぎしかたやなぎちょう2ちようめ</small>		事業延長	497m	
H15年度事業化	S40年度都市計画決定		H15年度用地着手	工事未着手	
事業期間	(H15～H24) H15～H29	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成24年度末時点】		
[うち用地補償費]	[13.1億円]		[うち用地補償費]	[10.2億円]	進捗率 [78%]
全体事業費	16.6億円		既投資事業費	11.1億円	67%
事業概要					
<p>小山栃木都市計画道路3・4・201号沼和田川原田線は栃木市沼和田町地内から栃木市中心市街地西部を經由し、栃木市川原田町地内の主要地方道栃木栗野線に至る都市内幹線道路であり、栃木市街地の内環状線の一部を担う都市の骨格を形成する道路である。</p> <p>栃木駅周辺は、栃木駅南側と北西側を連絡する幹線道路がなく都市の骨格形成が不十分であることから、中心市街地を大型車が通過するなど栃木駅北側に交通が集中し、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が発生している。</p> <p>また、栃木駅を利用して通勤通学する多くの自転車・歩行者が、自動車と混在し危険な状況にある。</p> <p>このため、本事業では、栃木駅南側と栃木駅北西側を結ぶ内環状道路の一部を整備することで、交通の分散化による渋滞の緩和、市街地からの大型車の排除、自転車・歩行者の安全で快適な通行を図ることにより、都市機能を向上させ、沿道の土地利用を誘導し、良好な市街地形成を促進するものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
・特になし					
事業の投資効果					
1 費用対効果分析結果			【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体			B/C = 1.2	20.8億円	17.9億円
2) 残事業			B/C = 4.1	20.8億円	5.1億円
2 事業の整備効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・栃木駅南側と北西側のアクセス向上による栃木市中心市街地の経済活性化及び良好な市街地形成促進 ・内環状線の一部を整備し、交通の分散機能強化による交通渋滞の緩和と通過大型車の排除 ・自転車歩行者道の整備による、自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保 					
事業の進捗状況等					
1 事業の進捗状況					
・現在、用地の約8割を取得済みであり、残り2割の用地について地権者との交渉を行っている。					
2 今後の事業進捗の見込み					
今後は用地の取得及び工事を推進し、平成29年度を目標に完成2車線で供用を図る。					
コスト縮減等					
1 コスト縮減方策					
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用し社会的コストを低減 ・当該工区の建設発生土を他工事に再利用し社会的コストを低減 ・下水道工事との同時施工による、掘り返し工事の削減 					
2 代替案立案等の可能性					
・大部分の用地を既に取得しており、また、栃木市街地の内環状線の一部として都市計画の諸手続きを経て整備を実施していることから、代替案立案は困難である。					
事業の対応方針 (案)			現計画で事業を継続する。		



写真 1 : 河合町交差点からの渋滞状況



写真 2 : 通学時間帯の状況 (境町交差点)



写真 3 : 整備状況 (起点側から終点に向けて撮影)